

もりふれ倶楽部通信 NO. 55

鳥が作る森

NPO 法人もりふれ倶楽部理事

池田 友紀

2018年となる今年は、ある出来事の100周年記念となります。なんだと思われませんか？

今から100年前の1918年、アメリカとカナダで締結した条約に基づき「渡り鳥保護条約法」が承認、制定されました。日本においては1970年代に入ってからアメリカ、ロシア、オーストラリア、中華人民共和国の4か国との間で協定が結ばれています。

こうした国際的な条約において鳥たちを保護していこう、という取り組みから鳥が自然の中で果たす生態系の重要性、ひいては私たち人間にとっても重要な役割を果たしているという認識が広がってきたということが伺えます。

鳥はなぜ大切なのか？

鳥なしでは人間は生きていくことができない、と言っても過言ではないその理由を考えてみましょう。

鳥とは、「鳥類の総称。卵生・温血の脊椎動物で、羽毛におおわれ、翼をもつ。」（スーパー大辞林より）とされています。

さらに、研究が進んだ現在では恐竜と鳥は同じ祖先であることがわかり、今見られる鳥は現代の環境に適応して生きる「小さな恐竜」ともいわれています。私が子どもの頃は“恐竜はワニなどの爬虫類に近い仲間”だと言われていたものですが、最近の恐竜図鑑には羽毛の生えた恐竜が描かれており、かなりイメージが変わっています。

鳥について語るとしたら、なんとといってもバラエティの豊かさです。多種多様な姿かたち、小さな鳥から大きな鳥まで、色や模様も様々、さらに家の周り、街中、海、山、川とどこにでも見られる身近な野生動物です。

世界中には1万種ほどの鳥が生息し、さまざまな環境に適応しています。砂漠で子育てをするハイイロカモメ、南極で抱卵するコウテイペンギン、アマツバメは海岸の断崖と過酷な自然環境の中ですくすく鳥もいれば、人工物のビルに営巣するハヤブサや鉄塔に巣作りするミサゴなど、鳥は海洋と陸上のあらゆる場所をすみかとしています。このため、地球上のすべての鳥をみようとすれば、世界中を訪れることとなります。

鳥が大切な理由の一つとして、人工的な環境で暮らす現代の私たちにとって、鳥は自然に触れるきっかけを与えてくれる存在であることが言えるのではないのでしょうか。

バードウォッチング発祥の地であるイギリスでは日常的に野鳥観察に親しんでいるようで、日本での「日本野鳥の会」にあたる「王立鳥類保護協会（RSPB）」の会員数は300万人にもなると

か。(ちなみに日本野鳥の会の会員数は約3万5千人) こうしたバードウォッチングと呼ばれる野鳥観察は、鳥の観察をとおして自然に親しむことができ、その鳥にまつわる自然環境を考えるきっかけにもなります。

人間にとって「価値」とは経済的なこと、人間にとっての有用性を意味することが多いですが、そういう意味では鳥は人間の食用になり、害虫やネズミなどの害獣を食べてくれる、役に立つ動物です。そうした直接的な価値だけでなく、鳥は植物の受粉を助け、種子を遠くまで運び、昆虫の数を制御し、腐肉を食べる“掃除屋”にもなり、また肉食の動物に食べられたりと生態系の中で不可欠な役割を果たしています。

こうした自然の中で鳥が果たしている役割のことを、バードウォッチングで自然に親しむ中で学び、気づいていくことに大きな意味があるのではないのでしょうか。

さて、国土の67%が森林で成り立つ日本では、森林にすむ鳥が果たす役割は大きいといえます。

国内で確認されている鳥類は650種ほどで、そのうち森林を生息の場とするもしくは一部利用する鳥は200種以上いるとされています

こうした森林に生息する鳥たちが森林にどのような影響を与えているのでしょうか。

【1.植物のタネを遠くへ運ぶ】

鳥が植物の種子散布を行うには主に2つのタイプがあり、まず一つは食べられた果実の中の種子が移動中、フンやペリット(吐き戻し)で排出されるものです。樹木の多くはフルーツ型の果実をつけます。熟すと赤や黒の目立つ色へと変わり、鳥たちにアピールして食べてもらいます。果肉の中の種子は固い種皮に保護されているので傷ついたり消化されることなく、空を飛び遠くへ移動した鳥のフンなどから排出され、新天地に分布を広げることができます。逆に、鳥に食べられないで果肉や種皮が残ったままだと種子の発芽能力は落ちてしまうのです。

植物によって種子や果実の大きさがさまざまなのも、ヒヨドリとモチノキ、ジョウビタキとイボタノキ、メジロとクロガネモチなどのように、鳥の嘴の大きさと関係しているようです。



トウネズミモチの実を食べるヒヨドリ(宍道町・ふるさと森林公園)

二つ目は貯食のために運ばれる果実の一部が途中でこぼれ落ちたり、隠した場所を忘れられたりして食べ残されるタイプの種子散布です。ミズナラやブナなどいわゆるドングリの仲間やハイマツなどナッツタイプの果実がカケスやホシガラス、ヤマガラなどによって木や岩の隙間や落ち葉の下などに埋められます。

特にホシガラスは、種子を大量に運ぶためののど袋が大きく発達し、多いときには140個ものハイマツの種子をため込むことができるため、ハイマツの種子散布には欠かせない存在となっています。

そのほかにも、オナモミやヌスビトハギなどいわゆる「ひつつきむし」とよばれる、人や動物の体に付着して種子散布する草の実などはキジやヤマドリ、コジュケイなど地上ですごす鳥がその運び屋となっています。

【2.植物の受粉を行う】

花粉媒介者といえば昆虫のイメージが強いですが、花蜜を主食とする鳥は世界中で約760種が知られており、有名なのはハチドリの仲間です。こうした鳥がいるのは年間を通して花が咲いている熱帯地方が多いので日本では種類は少ないのですが、メジロやメグロ、ヒヨドリなど熱帯起源の鳥たちが植物の受粉を助けています。

チョウやハチが少なくなる秋から冬にかけて咲く花に、ヤブツバキやサザンカがあります。ヤブツバキは花びらの基部が癒合しており、これは蜜を大量に蓄えるのと、鳥がとまりやすいようにするためではないかと考えられています。そしてメジロの舌先は筆状になっており花蜜を食べるための適応がみられ、両者は花粉媒介で深い結びつきがあることがうかがえます。

【3. 植物の外敵となる虫の数を抑える】

鳥の育雛期となる春から夏にかけて、親鳥は栄養たっぷりのイモムシを捕まえては巣へせつせと運び雛を育てます。ツバメなどの夏鳥たちが日本に渡ってくるのも、虫の数がもっとも多くなるこの時期に集中して繁殖を行うためです。ある調査結果によると、一羽のシジュウカラが巣に運び込む虫の数は一日平均で約400匹が見積もられており、1haあたりの鳥の数を10羽とすると、1か月の間に12万匹もの虫が食べられている計算になります。この膨大な数であっても、森林全体で見ると被食率は30~40%程度とされています。

植物にとって葉は活動するために必要な原動力であるため、昆虫に食べられると生長が悪くなってしまうという調査結果がでています。こうしたことから、鳥は虫を食べることで木を育てているという効果が生まれているのです。



虫を運ぶキセキレイ(飯南町・県民の森)

また、アカゲラなどキツツキの仲間は木の材の中にいるカミキリの幼虫を捕食することから、松枯病の原因であるマツノザイセンチュウを運んでしまうマツノマダラカミキリの増殖を抑える「天敵防除」の役割を果たしています。実際、秋田県のクロマツ林で人工巣を設置し、アカゲラを誘致したところカミキリの出現率は半分になったという効果も確認されています。

【4.土壌に栄養を与える】

カワウやサギ類は樹上に営巣し、集団コロニーをつくります。これらの鳥は魚を食べる魚食性で、排泄するフンは森林から川や湖、海へ流れ出た栄養分を再び陸域へと戻す役割をはたしています。窒素やリンが豊富に含まれたフンは土壌中で無機物に分解されて植物に吸収され、樹木の生長を助けます。

化学肥料がなかった時代、愛知県にある「鶉の山」では営巣樹の下のフンを採集し、良質な肥料として重宝されていたそうです。

国内に自然分布する森林には大きく分けて針葉樹林、広葉樹林、常緑広葉樹林があり、それぞれの森林タイプで見られる鳥はかなり違い、また、季節や標高差によっても変わってきます。さらに同じ森林の中でも地上から樹冠までは草本、低木層、高木層から成る多様な植物があるので各空間でも見られる鳥が変わり、食べ物の違い、巣材の違いがみられ、川のある森はさらに違いが表れてきます。

森林の構造が複雑であればあるほど植物の種類は多種多様で、その森は大きく、鳥も多くの種類が見られるのです。言い換えれば、多くの鳥が生息していくためには大きな森が必要ということでもあります。

生態系のバランスを保つ役割を持つ鳥がいることで森林が形成され、その生態系が維持されれば私たちの生活を支える空気や水、土といった資源だけでなく、大気中の二酸化炭素を減らせる効果も得られます。鳥なしでは人間は生きていくことができない、というのはこうした生態系の中で鳥はなくてはならない存在であるからです。

森の鳥を脅かすものに森林の伐採、分断化、河川環境の破壊、動物移入、化学的物質による汚染など様々な問題があります。例えば、ある森でシカが増えすぎ、ササなどの下草を食べつくされてしまいます。そうするとササ藪を好んで棲みついていたウグイス、コルリ、コマドリなどがいなくなり、その影響を受ける植物や動物も必ず出てくることとなり、生物相が豊かで健全な森のバランスがくずれてしまいます。

健全な森がなくなれば、私たち人間の生活にもやがて悪影響が出てくるのは必然です。では、健全な森を守っていくために私たちにできることは・・・？と考えたとき、鳥に興味を持つことが一つの方法になってきます。前述したように、鳥は地球上のあらゆる環境で生きているので、いつでもどこでも興味を持ちさえすれば、すぐにでも野鳥観察はできます。それが家の窓から見る庭であったり、散歩中、通学通勤中であっても少し鳥に意識を持つだけで、自然の見方が変わってくるかもしれません。

絶滅の危機に瀕したコウノトリや日本固有種であるヤンバルクイナやノグチゲラなどをシンボルに掲げ、その鳥をとりまく自然を守っていくことはとても重要であり意義があることではあるのですが、珍しいものを重んじ、ありふれたものを軽んじる風潮は、今現在スズメが減っている事実には気がつくこともなく、身近な自然環境の変化を見落としてしまうことにもなりかねません。

レイチェル・カーソンの名著「沈黙の春」にあるように、鳥の鳴き声が聞こえない日常はすでに異常事態であることを認識し、そんな未来にならないよう鳥を通して自然に親しみ、生物多様性について考えてもらいたいと思います。



スズメの巣立ち雛(自宅)

★この文章のなかには 29 種の鳥が登場しています。どんな鳥か、ぜひ図鑑などで調べてみてくださいね。

※平成 30 年 5 月 5 日（土）、NPO 法人もりふれ倶楽部総会にあわせて、もりふれ倶楽部設立 15 周年記念行事が行われました。



もりふれ倶楽部の歴史を語る佐藤仁志理事

もりふれ倶楽部の歴史

編集：NPO 法人もりふれ倶楽部 事務局

平成 15 年度	<ul style="list-style-type: none">・島根県立ふるさと森林公園を管理する目的で 3 月設立
平成 16 年度	<ul style="list-style-type: none">・島根県森林インストラクターの任意団体「フォレストネットワークしまね」が中心メンバーを含め合流していった・島根県立緑化センターの委託で里山自然塾はじまる・宮崎徳子が職員となる
平成 17 年度	<p>イベント～里山自然塾、里山子ども自然塾、森林ボランティアのための山仕事講座</p> <ul style="list-style-type: none">・理事長が小豆澤榮治から武田幸夫へ交代する・野田真幹が職員となる・島根県森林インストラクターから楨原道夫・響繁則・野田真幹の 3 名が理事になる
平成 18 年度	<p>イベント～里山自然塾、里山子ども自然塾、森林ボランティア、里山生活塾</p> <ul style="list-style-type: none">・理事長が楨原道夫へ交代する・岡田邦博が副理事長に就任・野田真幹が事務局長に就任・現在里山自然塾レギュラー講師の中村正志がはじめて里山自然塾の講師をする。
平成 19 年度	<p>イベント～里山自然塾、里山子ども自然塾、森林ボランティア、森林未来経営塾</p> <ul style="list-style-type: none">・島根県水と緑の森づくり実践最優秀賞に選ばれ県知事から表彰を受ける・飯南町来島の林地に中村正志設計、棟梁竹田正彦で「森の家」が約 30 名の会員の合宿により作成される
平成 20 年度	<p>イベント～里山自然塾、森林ボランティア、森林未来経営塾</p> <ul style="list-style-type: none">・3 団体連携「美しい森林づくり運動」事業開催、益田市のアンダンテ 21、大田市の緑と水の連絡会議と連携、田中賢治氏、中島健造氏がはじめて登場・宮崎徳子職員が現代林業の表紙を飾る
平成 21 年度	<p>イベント～里山自然塾、森林ボランティア、森林未来経営塾</p> <ul style="list-style-type: none">・副理事長が中村正志に交代する・島根県緑化推進委員会としまね森づくりコミッションを設立・8 月に「森林を守ろう！山陰ネットワーク会議」と共同主催で、島根県ではじめて石垣正喜氏等を講師にジットネットワークのチェンソー研修を開催、現在、中四国で指導者の最高ランクを持つ遠藤正資氏がこの時、はじめて石垣氏と出会う・10 月に「愛する島根の森林の間伐を推進するために」というテーマで、全林研会長田中惣次氏、森林ジャーナリスト田中敦夫氏による講演会を学習展示館で開催・「間伐待った無し！」をスローガンに間伐推進に燃えた 1 年・第 2 回 3 団体連携「美しい森林づくり運動」事業開催
平成 22 年度	<p>イベント～里山自然塾、森林ボランティア、森の聞き書き、森の健康診断、しまね森づくりコミッション出前講座、食べごと塾</p> <ul style="list-style-type: none">・臨時事務局長に、森の健康診断の創始者丹羽健司氏を擁する鳥取市の NPO 法人「賀露おやじの会」と鳥取・島根連携事業に取り組む。・平成 22 年度全国林業グループコンクールで林野庁長官賞（次席）を受賞

	<ul style="list-style-type: none"> ・松江市の会員有志が実行委員会（福岡茂明会長）をつくり、松江市樹木マップ橋北編を作成、同時開催の樹木観察会とともに話題になる
平成23年度	<p>イベント～里山自然塾、森林ボランティア、森の健康診断、しまね森づくりコミッション出前講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の立ち上げのため、もりふれ倶楽部の野田真幹理事・事務局長が1年間兼務で専務理事兼事務局長を務めたNPO法人さくらおろちとの協働事業「神話の里・さくらおろちの食べ事塾」シリーズを開催（この事業は農林水産省の同事業100件以上の中で第7位の評価を得た） ・奥出雲町阿井地区で2年をかけて作成した聞き書き「あい」発行 ・10月にもりふれ倶楽部の響繁則理事が国土緑化推進機構「森の名手・名人」に認定される ・11月にもりふれ倶楽部の野田真幹理事・事務局長が第60回中国・四国緑化推進協議会総会で中国・四国地区緑化功労賞を受賞 ・津和野町・島根県西部農林振興センター・アンダンテ21との協働事業で、島根県初の木の駅プロジェクトの社会実験を成功させた。
平成24年度	<p>イベント～里山自然塾、森林ボランティア、森の健康診断、しまね森づくりコミッション出前講座、食べごと塾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月に「森林と市民を結ぶ全国の集い2012 in 神々の国・島根」を事務局として運営、全国から100名以上の参加を得て、佐藤仁志氏、田中賢治氏、仁多林研、緑と水の連絡協議会、アンダンテ21等の協力の中、意義深い3日間となった ・津和野町・奥出雲町・雲南市・出雲市で木の駅プロジェクトの支援を行う ・さくらおろちとの協働で水源地域環境保全活動事業シリーズを実施、里山自然塾のノウハウをさくらおろち湖周辺で応用、毎回都市部から30名程度が集まり盛況
平成25年度	<p>イベント～里山自然塾、森林ボランティア、森の健康診断、しまね森づくりコミッション出前講座、食べごと塾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月にふるさと森林公園開園20周年森の誕生日祭を1万人の参加者で盛大に開催 ・引き続き、津和野町・奥出雲町・雲南市・出雲市で木の駅プロジェクトの支援を行う ・もりふれ倶楽部独自の食べごと塾を開催、益田市匹見町から漫画美味しんぼ登場の村上巴氏も講師に
平成26年度	<p>イベント～里山自然塾、森林ボランティア、森の健康診断、しまね森づくりコミッション出前講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・益田市と飯南町で、説明会、森の健康診断、社会実験等、木の駅プロジェクトの立ち上げ協力を行う ・飯南町下来島林地で、食と森林ボランティアの融合イベントを実験的に8回実施 ・出雲西高等学校環境福祉コースで月1回のもりふれ倶楽部によるレギュラー授業が始まる ・日本林業技士会島根県支部の事務局を受ける
平成27年度	<p>イベント～里山自然塾、森林ボランティア、森の健康診断、しまね森づくりコミッション出前講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、益田市と飯南町で木の駅プロジェクトの支援を行う ・損保ジャパンの支援で里山自然塾の特別編を年4回実施 ・簡保生命の支援で、高校生による小学校の学校林整備ボランティアはじまる（平成29年

	<p>度まで継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・益田市で自伐林家を目指す地域おこし協力隊の育成の支援を開始する（現在も継続中） ・環境保全活動に対する功績が認められ、県知事より感謝状をいただく
平成 28 年度	<p>イベント～里山自然塾、森林ボランティア、森の健康診断、しまね森づくりコミッション出前講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長が野々村俊成へ交代する ・引き続き、益田市と飯南町で木の駅プロジェクトの支援を行う ・島根県緑化推進委員会設立 20 周年記念に感謝場をいただく
平成 29 年度	<p>イベント～里山自然塾、森林ボランティア、森の健康診断、しまね森づくりコミッション出前講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、益田市と飯南町で木の駅プロジェクトの支援を行う ・藤原人美が嘱託職員となる ・森林ボランティア活動の中心が学校林整備となる（当年度は、県立出雲商業高校、安来市立赤屋小学校、安来市立布部小学校、飯南町立来島小学校、大田市立高山小学校、江津市立江津東小学校の学校林整備を実施）
平成 30 年度	<p>イベント～里山自然塾、森林ボランティア、しまね森づくりコミッション出前講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もりふれ倶楽部設立 15 周年イベント開催



15 周年年記念に集まった会員メンバー

平成29年度 もりふれ倶楽部の歩み

10月31日(火) しまね森づくり Kommission 出前講座 32 (高尾小学校)

奥出雲町立高尾小学校において、全校児童9名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「飾り炭」の指導を行いました。



指導 野田真幹、宮崎徳子



11月1日(水) しまね森づくり Kommission 出前講座 33 (八雲中学校)

松江市八雲中学校1年生59名に対して、森の大切さの講義と植樹をする前の事前学習を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子

11月1日(水) 出雲商業高等学校対応

商業美術科の3年生9名に対して、学校林整備へ向けて、森林環境活用の講義とシイタケ原木用の木の伐採体験を行いました。



指導 中村正志、響繁則、福岡茂明、宮崎徳子



1月1日(水) 安来市立赤屋小学校対応

安来市立赤屋小学校において、3~6年生に対して間伐体験、5、6年生に対して枝打ち体験、3、4年生に対して自然観察会の指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、池田友紀、藤原人美

11月2日(木) しまね森づくり Kommission 出前講座 34 (邑智中学校)

美郷町立邑智中学校1年生22名に対して、「森林保全の大切さ」の講義を行いました。 指導 野田真幹、宮崎徳子



11月3日(金・祝) 中国電力イベント対応

ふるさと森林公園において、中国電力主催、「森林イベント」の企画運営をさせていただきました。

指導 野田真幹、野々村俊成、内田百合子、福岡茂明、藤原人美、宮崎徳子

11月5日(日) 第7回里山自然塾

「第7回里山自然塾~コケ玉・ミニ門松とドラム缶で焼くピザ作り」を開催しました。参加者21名は、「森の話」を聞いた後2班に分かれ、学習展示館庭園内で苔について学び、もう1班は事前に作ってあったピザのトッピングを交互で行った後ドラム缶でピザを焼きました。午後からは講師の伊原千里氏より、事前に用意して頂いた植物を解説して頂き、ミニ門松とコケ玉を作りました。

講師 伊原千里、池田友紀 スタッフ 藤原人美、宮崎徳子



11月6日（月）み〜もスクール 第4回西小学校

雲南市立西小学校4年生30名に対して、第4回み〜もスクールとして、焼き芋、飾り炭づくりの指導と「もりのひびきさん」の話を行いました。 指導 野田真幹、野々村俊成、戸谷広子、藤原人美

11月7日（火）江津市立江津東小学校対応

江津市立江津東小学校3,4年生32名に対して、3グループに分かれて、島根県森林インストラクターの中村正志氏、野々村俊成氏、長野和秀氏が樹木観察の指導を行いました。



指導 野々村俊成、中村正志、長野和秀、宮崎徳子

11月10日（金）み〜もスクール 第3回母衣小学校

松江市母衣小学校5年生79名に対して、第3回み〜もスクールとして「ヒノキの和紙作り体験」指導を行いました。

指導 野田真幹、福岡茂明、池田友紀、藤原人美

11月11日（土）第2回里山食べごと塾

里山食べごと塾「晩秋の里山に出かけよう！」として、第2回さくらおろち湖と中流編1を行いました。参加者21名は、お土産になる柚子ジャム作りをした後、奥出雲町のみざわの館にて、地元のお母さんたちの手作りの温かい田舎料理をいただきました。午後からはダムが見える牧場（大石牧場）を見学し、大石さんの話を聞き、アイスクリームを試食して楽しい一日を過ごしました。



コーディネイト 野田真幹 講師 藤原人美 スタッフ 土山幸延

11月11日（土）第8回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第8回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志

11月12日（日）松江市立出雲郷保育園対応

松江市立出雲郷保育園において、親子活動「うぐいすやまへGO!」を園児と保護者171名に対し、2グループに分かれて、うぐいす山へ入って散策と、自然物を使った工作、ヤジロベエ作りの指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、長野和秀、中村正志、福岡茂明、内田百合子、

森下美津子、野田あや子、妹尾明美、藤原人美

11月13日（月）み〜もスクール 第3回布部小学校

安来市立布部小学校において、第3回み〜もスクールを開講しました。今回の対象1~2年生7名に対して、最初に焼き芋の仕込みをして、飾り炭をつくりました。教室で炭焼きの話を聞き、焼き芋の試食をしました。

指導 野田真幹、野々村俊成、野田あや子、藤原人美



11月14日（火）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校において、環境福祉コース2年生36名に対して、環境の授業の中で、ネイチャーガイドの池田友紀氏による「森と生物多様性」の講義と島根県森林インストラクターの野々村俊成氏より竹とんぼ作りの指導を行いました。

指導 野々村俊成、池田友紀、宮崎徳子

11月15日（木）み〜もスクール 第4回高山小学校

大田市立高山小学校において、第4回み〜もスクールを開講しました。今回の対象5~6年生13名に対して、「原木シイタケの植菌と伏せ込」と「飾り炭体験」を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、池田友紀、藤原人美



11月17日（金）飯南町立来島小学校対応

飯南町立来島小学校 3、4年生21名に対して、島根県中山間地域研究センター専門研究員の富川康之氏による「キノコとは何か」の話の後、シイタケ植菌と裸地伏せの指導を行いました。

指導 野々村俊成、響繁則、池田友紀、藤原人美



11月18日（土）川本研修対応

川本町主催「伐木・造木・集材研修」を「木の駅」で農林水産大臣賞受賞～仁多郡林業研究グループによる伐倒から造材・集材・搬出までの作業のコツ研修を実施しました。 指導 野田真幹、響繁則、安部久、陶澤眞一

11月19日（日）県民の森ふれあい講座

しまね県民の森ふれあい講座 第2回「紅葉の森の散策、簡易くん製とドラム缶窯ピザを楽しむ」を実施しました。

指導 野田真幹、野々村俊成、中村正志、池田友紀、藤原人美



11月19日（日）地SUN地SHOW対応

くにびきメッセを会場に、「第33回地SUN地SHOW祭り」が開催され、もりふれ倶楽部も「コケ玉づくり」、「木切れ自然工作」を通して、身近な里山や森林の大切さを考えてもらうコーナーを出展しました。

指導 伊原千里、福岡茂明、森下美津子、宮崎徳子



11月20日（月）宍道子育て支援センター対応

宍道子育て支援センター主催、子育て支援の為の講座として、親子11組23人にヤジロベー作りの指導と、みーもくんの冒険の紙芝居をしました。

指導 内田百合子、森下美津子、藤原人美

11月20日（月）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校、環境福祉コース3年生35名に対して、安来市立赤屋小学校学校林において、枝打ち体験の指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、中村正志、豊田真樹子、池田友紀、宮崎徳子

11月21日（火）しまね森づくりコミッション出前講座35（掛合中学校）

雲南市立掛合中学校において、1年生19名、2年生26名、3年生22名に対して、「森林の大切さ」の講義とビンゴゲーム交えて「樹木学習」の指導を行いました。

指導 野田真幹、池田友紀、宮崎徳子 11月22日（水）飯南町立来島小学校対応
飯南町立来島小学校5、6年生20名に対して間伐体験の指導と森林保全の講義を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、池田友紀、宮崎徳子

11月23日（木・祝）第3回里山食べごと塾

里山食べごと塾「晩秋の里山体験」として、第3回さくらおろち湖と中流編Ⅱを行いました。参加者20名はプロの職人による焼きサバを見学し、それを使った焼きサバ寿司を作りました。お土産に柚子畑に行っ



収穫体験をし、楽しい一日を過ごしました。

コーディネイト 野田真幹 講師 安部悟、荒砂喜久江、藤原人美 スタッフ 土山幸延

11月25日（土）～26日（日）森林ボランティア特別編

浜田市の故栗栖誠氏の山林において、「栗栖山林復興ボランティア刈り払い機を持った10人の侍と仲間」と題して、栗栖山林の歩道や広場・重要な場所の草刈りを行いました。

メンバー 野田真幹、岡田邦博、穂井田頼、響繁則、吉川英雄、土山幸延
安部久、遠藤和則他



11月27日（月）～30日（木）江津市研修対応

江津市主催の「作業路づくり研修」の企画・運営を行いました。講師には、日本を代表する自伐林家で作業路づくりの名人橋本光治氏を迎えました。

コーディネイト 野田真幹 講師 橋本光治



12月2日（土）江津市研修対応

江津市主催の「響繁則氏による原木シイタケ研修」を行いました。

指導 響繁則、野田真幹

12月3日（日）第8回里山自然塾

「第8回里山自然塾～森のリースとクリスマス里山クッキング」を開催しました。参加者32名は、チキンステーキとジャガイモをアルミホイルで包み熾火の中に入れてから、ツルを採取しリース作りに取り組みました。

講師 影山和美、池田友紀 スタッフ 藤原人美、宮崎徳子



12月4日（月）みーもスクール 第5回西小学校

雲南市立西小学校4年生30名に対して、第5回みーもスクール、学校林内での樹木学習の指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、長野和秀、池田友紀、野田あや子、藤原人美

12月8日（金）飯南町立来島小学校対応

飯南町立来島小学校1, 2年生23名に対して、島根県森林インストラクターでネイチャーガイドの池田友紀氏により、冬編として「虫」をテーマに自然体験の指導を行いました。指導 池田友紀、宮崎徳子

12月9日（土）川本町研修対応

川本町主催、ワイヤーロープに取って代わる高強度繊維ロープの紹介と使い方結び方。急斜面の上り下り安全確認。滑車と併用で倍力にする手法など。掛り木処理のための樹上高くロープを掛ける方法の実習。ロープウインチを使った搬出技術を体験する研修を実施しました。コーディネイト 野田真幹 講師 高濱徹



12月10日（土）第9回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第9回大人のための自然観察会を開催しました。指導 中村正志

12月10日（日）飯南町研修対応

飯南町主催「安全技術作業講習会」目立てからはじまるチェーンソーワーク基礎実習、丸太を使った大切なチェーンソーワーク実習、立木を伐木造材する実習、PC ウインチを使った集材・かかり木処理・伐倒等の研修の4つの研修を同時に実施しました。

コーディネイト 野田真幹 講師 遠藤正資、安部久他 スタッフ 服部恵子

12月13日（水）出雲商業高等学校対応

出雲商業高等学校において、デザイン科の3年生に対して、森の名手名人の響繁則氏から前回の授業で伐倒した木をホダ木にして、シイタケ植菌、伏せ込み体験の指導を行いました。



指導 響繁明、長野和秀、福岡茂明、宮崎徳子

12月16日（土）～17日（日）スキルアップ研修

しまね森林活動サポートセンター主催の「島根県森林インストラクター・スキルアップ研修」の企画・運営をサポートさせていただきました。

講師 佐藤仁志、野田真幹、中村正志

1月7日（日）第9回里山自然塾

「第9回里山自然塾～春の七草を楽しもう」を開催しました。参加者32名はNPO 法人もりふれ倶楽部理事の佐藤仁志氏から春の七草を学んだ後、参加者



に七草を刻んでもらい、玄米を使った七草粥にふりかけていただきました。午後からは昔ながらの臼と杵で草餅をつきお土産にしました。 講師 佐藤仁志 スタッフ 中村正志、池田友紀、藤原人美、宮崎徳子

1月7日(日) 第10回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第10回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志

1月14日(日) 川本町研修対応

川本町主催「伐木・造木・集材研修」目立てからはじまるチェーンソーワーク基礎実習を実施しました。

コーディネイト 野田真幹 講師 遠藤正資他

1月15日(月) しまね森づくり Kommission 出前講座 36 (湖陵小学校)

出雲市立湖陵小学校において、3年生46名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」の指導を2クラスに分かれて行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子



1月19日(金) 出雲西高等学校対応

出雲西高等学校、環境福祉コース2年生36名に対して、安来市立赤屋小学校学校林において、枝打ち体験の指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、中村正志、響繁則、福岡茂明、安部久、宮崎徳子

1月20日(土) 21日(日) 森林ボランティア

松江市楽山公園において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、楽山公園の除伐を行いました。

メンバー 中村正志、野々村俊成、岡田邦博、別木健一、安達宏史、橋本守庸、園山真子



1月23日(火) しまね森づくり Kommission 出前講座 37 (南中学校)

出雲市立南中学校1年生36名に対して、森の大切さの講義とシイタケの植菌をする前の事前学習を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子

1月24日(水) 出雲農林高等学校対応

島根県立出雲農林高等学校において、環境科学科1年生37名に対して、「島根の森林・林業と森林保全について」の講義と、森の名手・名人響き繁則氏より「響式原木シイタケ生産システムの確認」の話をした後、シイタケの植菌実習とホダ木の伏せ込みの指導を行いました。

指導 野田真幹、響繁則、野々村俊成、宮崎徳子

1月25日(木) 飯南町立来島小学校対応

飯南町立来島小学校5、6年生20名に対してヒノキの皮で紙漉き体験を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子

1月26日(金) しまね森づくり Kommission 出前講座 38 (真砂小学校)

益田市立真砂小学校において、3年生~6年生12名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「樹木観察」の指導を行いました。 指導 野田真幹、浅浦徹



2月2日(金) みーもスクール 第6回西小学校

雲南市立西小学校4年生30名に対して、第6回みーもスクールとして、「森林保全の大切さの講義」と「巣箱の付け替え」を実施しました。 指導 野田真幹、中村正志、福岡茂明、藤原人美

2月3日(土) 第11回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第11回大人のための自然観察会を開催しました。

指導 中村正志

2月4日（日）第10回里山自然塾

「第10回里山自然塾～木の皮で楽しいものづくり」を開催しました。参加者15名は、事務局長の野田真幹氏より、間伐したヒノキの皮と、牛乳パックを混ぜた和紙作りを教えてもらい、和紙を使った葉を作りました。午後から島根県森林インストラクターの中村正志氏から木の皮を編んだペンダントづくりを行いました。



最後に森林インストラクターの池田友紀氏より「樹皮について」話を聞きながら、トチ餅のぜんざいをいただきました。講師 野田真幹、中村正志、池田友紀 スタッフ 藤原人美、宮崎徳子

2月6日（火）しまね森づくり Kommission 出前講座 39（出雲郷小学校）

松江市立出雲郷小学校特別支援学級4名に対して「木切れ工作」の指導を行いました。指導 藤原人美、宮崎徳子



2月12日（祝・月）川本町研修対応

川本町主催「伐木・造木・集材研修」を「木の駅」で農林水産大臣賞受賞～仁多郡林業研究グループとチェーンソー女性指導者による伐倒から造材までの作業のコツ研修を実施しました。

コーディネイト 野田真幹 講師 響繁則、豊田真樹子他

2月13日（火）しまね森づくり Kommission 出前講座 40（久手小）

大田市立久手小学校4年生33名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「和紙作り」の指導を行いました。

指導 野田真幹、藤原人美、宮崎徳子



2月17日（土）第4回里山食べごと塾

里山里山食べごと塾「第4回宍道湖と下流編」を行いました。参加者21名は、宍道湖七珍の一つ鯉を自ら調理してイベントなどで提供される方を講師に招き実演していただき、鯉こくを作りました。他に山菜おこわ、大根の白和え、ユキノシタとフキノトウの天ぷら、おやつに蒸しパンを作り楽しい一日を過ごしました。コーディネイト 野田真幹

講師 松原征洋、藤原人美 スタッフ 土山幸延、橋本守庸、内田百合子

2月26日（月）松江市立本庄小学校対応

松江市立本庄小学校4年生18名に対して、森林保全の大切さの話と紙漉き体験、シイタケ植菌、間伐体験の指導を行いました。

指導 野田真幹、中村正志、響繁則、豊田真樹子、吉川奈月、藤原人美、宮崎徳子



2月27日（火）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校において、環境福祉コース2年生36名に対して、環境の授業の中で林業技士の野田真幹氏による「森林保全の大切さの」講義と間伐材の紙漉き体験の指導を行いました。指導 野田真幹、藤原人美、宮崎徳子

3月3日（土）県民の森ふれあい講座

しまね県民の森ふれあい講座「雪だるまづくり・竹筒ご飯・呉汁」を実施しました。雪の関係で「雪だるま」よりも、「かまくら」を作り「かまくら」の中に入って、子供の頃を思い出しました。竹で、おやつのリンゴの甘煮を作り、雪遊びをしてから、コーヒーと一緒に頂きました。

指導 野々村俊成、中村正志、池田友紀、藤原人美

3月4日（日）第11回里山自然塾

「第11回里山自然塾 しいたけの植菌と燻製づくり～雑木林と人の関わりその2」を開催しました。参加者33名は2班に分かれ、午前中は燻製（燻製を実体験したり、下準備について話を聞きました）と散策（雑木林に良く見られるクヌギや



コナラ・シイノキを観察しながら違いや用途などについて話を聞きました)をしました。午後から、「椎茸の植菌」と「森の話」を聞き、燻製を試食したりお土産にしたりして、充実した1日を過ごしました。

講師 野田真幹、野々村俊成、響繁則、竹田正彦、池田友紀、 スタッフ 藤原人美、宮崎徳子

3月6日(火) 出雲西高等学校対応

出雲西高等学校において、環境福祉コース2年生36名に対して、環境の授業の中で、理事の池田友紀氏が「どんぐりの木と生物多様性」と題して講義を行いました。また、体験コーナーで、理事長の野々村俊成氏が無煙炭化器を使った「飾り炭」の指導を行いました。 指導 野々村俊成、池田友紀、宮崎徳子

3月10日(土)~11日(日) スキルアップ研修

しまね森林活動サポートセンター主催の「島根県森林インストラクター・スキルアップ研修」の企画・運営をサポートさせていただきました。

講師 野田真幹、野々村俊成、中村正志



3月17日(土) 第12回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第12回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志

平成30年度 もりふれ倶楽部の歩み

4月7日(土) 第1回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第1回大人のための自然観察会を開催しました。

指導 中村正志

4月21日(土) 森林ボランティア(三刀屋小学校)

雲南市立三刀屋小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、伐倒した樹木の片付け作業を行いました。これは、樹木の生長により林内が暗くなり、直径30~40cmの常緑樹13本を事前に、もりふれ倶楽部の選抜メンバーで伐採したもので、すでに玉切りや枝払いはしてありましたが、重くて人力で難しい部分はロープウインチを活用して片付けを行いました。



メンバー 野田真幹、野々村俊成、岡田邦博、土山幸延、浜村悦郎、池田辰巳、三嶋節夫

4月22日(日) 森林ボランティア(来島小学校)

飯南町立来島小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、昨年度シイタケのホダ木づくりのために伐倒したコナラやクヌギの片づけをおこないました

メンバー 野々村俊成、中村正志、別木健一、岡田邦博



4月24日(火) しまね森づくり Kommission 出前講座1(阿井小学校)

奥出雲町立阿井小学校5, 6年生14名に対して、国土防災技術株式会社から3名の先生を迎えて、森のはたらきと間伐の話と、樹木検索の仕方を教わった後、「和紙作り体験」の指導を行いました。最後に林業技士の野田真幹氏と森の名手名人の響繁則氏が「森林保全の大切さの講義」を行いました。



指導 国土防災技術(株)、野田真幹、響繁則、宮崎徳子

4月26日(木) 出雲に高等学校対応

出雲西高等学校において、環境福祉コース3年生35名に対して、環境の授業の中で、島根県森林インストラクターの野々村俊成氏が「里山に生まれ育ち・そして今」として自身の人生論を話されました。また、体験コーナーとして、竹のかざるま作りの指導を行いました。 指導 野々村俊成、岡田邦博、宮崎徳子

4月29日(祝・日) 森の誕生日2018

島根県・島根県緑化推進委員会・宍道湖西岸森と自然財団・NPO法人もりふれ倶楽部が、共同主催で「森の誕生日2018」を開催しました。約8,000人が来場し、ステージを含め、森の大切さをPRする様々なイベントが行われました。その中で、今年も、352人の参加者に学習展示館で普及啓発イベントを行いました。

スタッフ 別木健一、岡田邦博、高橋恭子、森下美津子、土山幸延、中尾篤志、内田百合子、伊藤志美恵 洲濱寿晴、芦原正文、芦原有理、池田友紀、穂井田頼、安部雄一郎、濱下奈津子、三重野三義

熱田悠子、中村正志、佐藤光祥、福岡茂明、竹下健二、吉田真人、宇矢弘、平野秀子、石倉一郎豊田真樹子、近藤純子、野田真幹、藤原人美、小林玲子、宮崎徳子



木登り ネイチャートレッキング 竹細工 木の皮ペンダント 花炭

4月30日(祝・月) 楽山公園再生イベント

松江市公園緑地課の委託事業の中で、市民緑化活動普及啓発事業「楽山再生」市民ボランティアイベント「楽山公園でたけのこ掘りボランティアと竹筒で焼くタケノコごはんを楽しむ」実施しました。参加者51名は、昨年度まで、まつえ環境市民会議と一緒に竹を整備した場所でタケノコ掘りを行い、竹筒で炊くタケノコごはんをいただきました。



指導 野田真幹、野々村俊成、中村正志、福岡茂明、藤原人美、宮崎徳子

5月6日(日)第1回里山自然塾

島根県主催の第1回里山自然塾「山菜や野草を食べ、里山を考える！」を開催しました。参加者33名は講師の佐藤仁志氏から、山菜の話聞いた後、3班に分かれて、散策をしました。持ち帰った野草のほか、森の名手・名人の響繁則氏が奥出雲から採ってきたシャク・ヤブカンゾウ・ノビル・オオバギボウシ・クサソテツ、フジの花等をサラダ、シャブシャブ、天ぷら、おひたし、胡麻和えなどにしておいしくいただきました。



講師 佐藤仁志、野田真幹、中村正志、響繁則、池田友紀 スタッフ 藤原人美、宮崎徳子

5月8日(火) しまね森づくり Kommission 出前講座2 (本庄小学校)

松江市立本庄小学校1,2年生23名に対して、森のお話(森林生態系の話)とビンゴゲームをしながら樹木や草花の観察の指導を行いました。

指導 池田友紀、宮崎徳子



5月9日(水) しまね森づくり Kommission 出前講座3 (豊川小学校)

益田市立豊川小学校3年生19名に対して、森林保全の大切さの講義とビンゴゲームをしながら樹木の観察の指導を行いました。指導 野田真幹、浅浦徹

5月10日(木) しまね森づくり Kommission 出前講座4 (赤名小学校)

飯南町立赤名小学校において、5年生14名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と和紙づくり体験の指導を行いました。指導 野田真幹、宮崎徳子



もりふれ倶楽部今後の予定2018 6月～9月

6月2日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：布部小草刈り・竹林整備
☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・刈り払い機・チェーンソー・手鎌・鋸等
集合場所：安来市立布部小学校駐車場
前日正午まで申し込を、お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。要事前申し込み。

6月2日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合
自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。
森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。
☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。

6月16日(土) 10時～15時 ☆山林の購入・相続後の多面的な山林活用方法を考える
『森林未来経営塾2018』第3回 午前：座学～橋本光治氏の山林経営(本人が講師)
午後：現地散策～作業路踏査実演
会場：スサノオ会館会議室→佐田町吉野山林
☆参加者募集中：参加費無料・昼食持参
持ち物～弁当・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け

6月17日(日) 10時～15時 第2回 里山自然塾「新緑の里山で本格的な笹巻づくりと、高級和菓子の友クロモジの爪楊枝づくりを楽しむ」
☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員25名(申し込み順)

7月1日(日) 10時～15時
森林ボランティア1日限りの作業班：ふるさと森林公園内植樹苗下刈り
☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・刈り払い機・手鎌
集合場所：ふるさと森林公園学習展示館
前日正午まで申し込をお受けします。会員の方には、交通費補助千円を支給します。要事前申し込み。

7月7日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合
自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。
森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。

7月8日(日) 10時～15時 第3回 里山自然塾「竹は友達！竹筒で炊くりゾットづくりと竹
のペーパーボックスの絵付けを楽しむ」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～飲み物・昼食(おかず)・雨天時は雨具 定員25名(申し込み順)

7月14日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：江津東小・下刈り

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメ
ット・刈り払い機・鎌等持参ください。
集合場所～江津東小学校駐車場
前日正午まで申し込みをお受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給しま
す。場所のわからない方はご相談ください。

7月22日(日) 10時～15時 ☆山林の購入・相続後の多面的な山林活用方法を考える

『森林未来経営塾2018』第3回 午前：座学～橋本光治氏の道づくりのポイント
午後：現地散策～作業路づくり実演(本人が講師)

会場：スサノオ会館会議室→佐田町吉野山林

☆参加者募集中：参加費無料・昼食持参
持ち物～弁当・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け

8月4日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：布部小竹林整備

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメ
ット・チェーンソー・鋸等
集合場所：安来市立布部小学校駐車場
前日正午まで申し込みを、お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給
します。場所のわからない方はご相談ください。要事前申し込み。

8月5日(日) 10時～15時 第4回 里山自然塾「大人も子どもも里山で遊ぼう！昆虫ゲット
講座と水鉄砲、けん玉等世代を結ぶ竹おもちゃ講座」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～飲み物・昼食 定員25名(申し込み順)

8月19日(日) 10時～15時 飯南町県民の森「木工講座」

「間伐材の丸太で動物をつくる！」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：県民の森木工室
持ち物～飲み物・昼食 定員20名(申し込み順)

8月25日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

自然観察会（自然を撮ろう！カメラを持って集まろう！）。植物を学びたい方も是非。

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

8月4日（土）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：布部小竹林整備

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・チェーンソー・鋸等

集合場所：安来市立布部小学校駐車場

前日正午まで申し込を、お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。要事前申し込み。

9月1日（土）13時～2日（日）15時 島根県森林インストラクタースキルアップ研修

会場：集合～道の駅浜田夕陽パーク駐車場 栗栖誠氏山林 江津少年自然の家

内容：栗栖氏の山林経営を学ぶ、ネイチャーゲーム、竹のアウトドア調理研修

☆参加者募集中：参加費 5,000円予定（宿泊・食事・懇親会代を含む）

持ち物～飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け

※もりふれ倶楽部の会員の方は、島根県森林インストラクターでなくても参加できます。

9月8日（土）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：布部小竹林整備

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・チェーンソー・鋸等

集合場所：安来市立布部小学校駐車場

前日正午まで申し込を、お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。要事前申し込み。

9月9日（日）10時～15時 第5回 里山自然塾「里山で芸術の秋～ヒノキ和紙に押し花アートをトッピングした菜と食欲の秋～竹焼き米粉パン」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物～飲み物・昼食（主食になるものは持参）定員20名（申し込み順）

9月15日（土）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：東出雲竹林整備

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。午後は市民会議のメンバーも参加

参加費無料・昼食支給 14時から青空竹細工教室を実施

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・チェーンソー・鋸等

集合場所：出雲郷公民館駐車場

前日正午まで申し込を、お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。要事前申し込み。

9月17日（月・祝）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：下刈り

9時50分 江津市立江津東小学校集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

9月22日（土）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：下刈り

9時50分 出雲商業高等学校駐車場集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

9月23日（日）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：下刈り

9時50分 来島小学校駐車場集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

9月24日（月・祝）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：危険木除去

9時50分 来島小学校駐車場集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・チェーンソー・鋸
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

9月29日（土）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：下刈り

9時50分 出雲郷保育園うぐいす山集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。



森林ボランティアで汗をかくと
最高の1杯が待っている！

できることを一緒にやりましょう！

もりふれ倶楽部通信 NO. 55

NPO法人もりふれ倶楽部

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

メール morifure@coffee.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.morifure.jp/>